

キャラクター名
戒厳蓮一郎 (かいげん れんいちろう)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ハヌマーン	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	支部長
オプション	サラマンダー	年齢	22	性別	男
覚醒	渴望	衝動	闘争	初期侵食率	33 %
出自	犯罪者の子	経験	敗北	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	1	0			2	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	4	0	0			4	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷炎の剣	白兵	2r	6	Lv+6		
ナイフ		0				演出の為に購入してるだけで使わないよ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
絢爛(かけがえのない逸品)	
夜叉の眼(審判の眼)	
思い出の一品	
コネ: 情報屋	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
業師-スペシャリスト	P	N		
宮古 麻由里	P 幸福感	N 無関心		
絢爛	P 遺志	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
氷炎の剣	2	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 白兵武器作成								
地獄の氷炎	4	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 作成武器の攻撃もしくはG値+[Lv*3]								
コンセ:ソラリス	3	2	メジャー					
効果: C値-Lv(下限7)								
一閃	1	2	メジャー	武器		白兵		
効果: 全力移動後に白兵								
アドレナリン	2	3	メジャリア			肉体		
効果: 判定ダイス+[Lv+1]								
炎神の怒り	2	3	メジャリア			肉体		
効果: 判定ダイス+[Lv+1] HP3点消費								
煉獄魔神	2	3	メジャー			シンドロームリミット		
効果: 攻撃力+[Lv*3]/炎神のデメリット無し								
獅子奮迅	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	白兵		
効果: 攻撃の対象を範囲(選択)に拡大/シナリオLv回								
オーバードーズ	1	4+2	メジャリア			シンドローム	100↑	
効果: 組み合わせたエフェクトLv+2/シナリオLv回								
空疾る爪	3	4	オート	至近	自身	自動	120↑	
効果: 自身の判定直後に使用、達成値+10/一度の判定に複数回使用可能/シナリオLv回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGNO市支部の支部長。背中に大太刀を携えた明朗快活且つ戦闘狂な剣士。酒が入った瓢箪を持ち歩くぐらいの酒好き。最近はなかなか酒に酔えなくなったのが悩み。剣術家の家に生まれ、戒厳流と呼ばれる殺人剣の流派を学ぶ。一家ともどもFHIに所属しており、父は組織で刀を振るっていたが衰えを感じ引退。蓮一郎に刀と義眼を託して姿を消した。そして初めての人斬りに興じるため街に繰り出した蓮一郎だったが、間が良いのか悪いのか、とあるUGNエージェントと遭遇し、交戦した。結果は敗北。己を負かしたエージェントを好敵手と認め、彼女の側でリベンジの機会を伺うためUGNに鞍替えした。"宮古 麻由里" 彼女とは共に訓練で切磋琢磨しあう相棒の仲になったが、一年前の戦闘で戦死してしまった。その戦闘で撤退せざるを得なかった自身の弱さを悔い、足りないものを補うように訓練に打ち込んだ結果、サラマンダーに目覚めた。それに伴いコードネームを改名。最近、実力が評価されたのか〇市の支部長に抜擢された。

戦闘スタイルは炎を纏った短剣の二刀流。戒厳流は本来は一刀を使う流派だが、それだけでは足りないとして蓮一郎の我流で二刀スタイルを開発した。

背中の大太刀"絢爛"
父から受け継いだ名刀らしいのだが、一年前から封印して代わりに短剣で戦っている。「こいつは俺の魂だ。滅多には抜けん!」とは本人談。
義眼"夜叉の眼" 相手の衝動が分かる義眼。刀と共に父から譲り受けた。父はこの義眼でターゲットを見定め、殺すかどうかを判断していたようだ。